

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造
 基本事業 自主的市民文化 芸術活動の育成・支援

事業名 セラミックアートセンター管理経費

[0478]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>セラミックアートセンター</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>快適かつ安全に利用してもらう ・多くの市民に利用してもらうことで、れんがとやきもの まち「江別」のイメージの共有を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>・セラミックアートセンターの管理運営に要する経費。 ・小森忍および道内作家、れんが資料の収蔵、展示。 ・陶芸を中心とした企画展、各種陶芸教室、講座等の適正な 管理運営。工房、窯等の貸し出し。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	開館日数	日	303	303	304	302
活動指標2	運営 維持管理経費	千円	42,109	40,748	40,228	40,836
成果指標1	利用者数	人	25,886	16,789	17,386	20,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	42,109	40,748	40,227	40,836
正職員人件費 (B)		千円	7,940	7,883	7,657	6,924
総事業費 (A) + (B)		千円	50,049	48,631	47,884	47,760

費用内訳	
22年度	報酬 3,462千円、賃金 2,772千円、需用費 11,008千円、役務費 208千円、委託料 22,529千円、使用料及び賃借料 239千円、負担金 補助及び交付金 10千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	セラミックアートセンターの管理運営	事業を取り巻く環境変化	陶芸の里計画の見直し
--------	-------------------	-------------	------------

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

陶芸の里条例および規則

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

芸術作品の収蔵と鑑賞機会や制作の場を提供するものであり、芸術活動に対する支援と情報発信の基盤となる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

江別の顔づくりには一定程度役立っている。入館者数はロビーイベント等の開催により微増傾向にある。さらに市民利用を促すためには、施設の多目的利用など運営に工夫が必要である。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

施設の多目的利用など運営方法を工夫する。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

17年度に大幅な経費節減を図っており、これ以上は軽微な削減しか見込めない。かつ施設設備等の経年劣化により、維持管理に係る経費の増が必要となってきた。